

【福井県福井市】

背景・課題

- ・市街地拡大に伴い、中心市街地の魅力が低下。
- ・福井市中心部では、鉄軌道の乗り場が事業者ごとに分かかれ、乗継ぎ等の連携が不十分で、利便性が低い状態。

事業者間の相互乗入れ等により拠点駅へのアクセスを改善併せてハード整備を推進し、拠点地区の賑わいを創出

- ・えちぜん鉄道鷲塚針原駅と福井鉄道越前武生駅間を相互乗り入れし、高頻度運行により福井駅へのアクセスを増便。また、新車両の導入や停留所のバリアフリー化、PTPS導入による定時性確保の取組を推進。
- ・土地区画整理事業により、街路及び駅前広場を整備し、鉄軌道の乗り入れ空間を確保。また、「にぎわい交流拠点」として民間施設（商業、住宅等）を駅前に整備することで、中心市街地活性化を図っている。

★鉄軌道相互乗り入れ

- 従来は田原町駅で福井鉄道とえちぜん鉄道は乗り換えが必要だったが、
- ・利便性の向上及び利用者数増加
  - ・福井市を核とした嶺北一円の交通ネットワークの形成・充実
  - ・地球温暖化防止の観点からも、過度に自動車に依存した移手段から公共交通への転換等を目指し、相互乗り入れを実施。

★駅前商業施設との相互利用促進

- 福井鉄道・えちぜん鉄道等の乗車券の提示により、駅前商業施設の割引特典を提供  
→公共交通利用者増加、中心市街地活性化



・相互乗り入れ区間の利用者数

※田原町駅（従来の乗り換え駅）をまたぎ直通区間を移動したケース  
約13万2,600人【H28】（平成27年度の約2.7倍）

- ・福井駅西口中央地区における歩行者通行量  
8,600人【H22】→ 11,600人【H27】



★福井駅西口駅前広場整備

- 土地区画整理事業等により、にぎわい創出のために複合的な施設を配置し、県都にふさわしいシンボル性のある景観を創出。

<福井駅西口広場全景 (H28)>



★福井駅の交通結節機能強化

- 福井鉄道をJR福井駅前（福井駅西口広場）まで延伸し、併せてバスターミナルを整備することで交通結節機能を強化  
→JR、バス、路面電車等のモード間の乗り継ぎにおいて利便性向上